

「現地メディア向けプレスツアーを行いました」

9月12～13日、現地メディア向けプレスツアーを実施し、新聞・テレビ・通信社8社13名のジャーナリスト及びカメラマンが参加しました。このプレスツアーは、日本の開発協力が現地メディアで取り上げられる機会を増やすとともに、キルギスの政府関係者、知識層およびキルギス国民への情報発信を強化するためのものです。

プレス一行はイシククリ州を訪れ、平成30年度草の根・人間の安全保障無償資金協力（以下：草の根無償）「アク・スー精神神経症患者用社会施設住環境改善計画」、平成28年度無償資金協力「道路維持管理機材整備場改善計画」及び「一村一品」組合（技術協力「イシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト」及び「一村一品アプローチによる小規模ビジネス振興を通じたイシククリ州コミュニティ活性化プロジェクト」、平成25年度草の根無償「イシククリ州カラ・コル市羊毛産品加工・検品機材整備計画」で協力実施）の視察を行いました。

1日目の様子

1日目はアク・スー精神神経治療施設において、草の根無償の機材引渡式が実施され、ベッド120台、業務用冷蔵庫、業務用洗濯機、歯科用椅子等、合計46,425米ドル相当の機材が供与されました。式典には来賓としてトクトサルトフ・キルギス労働・社会発展省次官、モノルドロフ・イシククリ州第一副知事他が出席し、日本政府からの支援に対して感謝が述べられました。



協力前の歯科室
歯科用の椅子がありませんでした。



協力後の歯科室
高品質の歯科用の椅子が供与されました。

本施設は、脳性まひ、精神遅滞、統合失調症等の病気を患っている成人女性250名の入居を受け入れています。本施設の保有機材の多くは旧ソ連時代に

設置されたもので、使用開始から30年以上経過し、調理器具やベッド等生活と直接関連するものの老朽化が著しく進み、入居者の最低限度の生活の維持も困難になっていました。引渡式の後、施設の職員や入居者が実際に機材を使用している様子を視察しました。

2日目の様子

2日目は、まず無償資金協力「道路維持管理機材整備場改善計画」の第35道路維持管理局を訪れました。この協力は、キルギス運輸道路省が管轄する国内（チュイ州、ナリン州、イシククリ州、タラス州、ジャララバード州及びオシュ州）6ヶ所の道路維持管理局に対し、道路維持管理機材のメンテナンスのための機器や工具159種類、計951台を供与するものです。また、道路維持管理局において、日本の専門家による機材操作方法の研修も実施されました。第35道路維持管理局はイシククリ州にある全7ヶ所の道路維持管理場を管轄しています。オムケエフ第35道路維持管理局長は、以前は部品の洗浄を手作業で行ったり、修理できる技術者を探したりしていましたが、機材供与により管理局において自分たちで作業ができるようになり、機械化により作業負担も大幅に軽減されたと述べました。



オムケエフ局長へのインタビュー



機械工による機材の使用方法的説明

続いて一行は、「一村一品」組合を訪れました。同組合は一村一品運動を通じた地域振興を目的とする日本からの技術協力を受けて2011年4月に発足し、現在はフェルト製品、蜂蜜、栄養豊富な果実シーバクソンのジュース、イチゴ、杏、バラ、たんぽぽ等のジャム等を「イシククリ・ブランド」商品として全国で販売しています。草の根無償により、羊毛産品製造の工程で不足していた梳綿機や検針機等の加工・検品機材が供与されました。

同組合が生産するフェルト製品は、「無印良品」を展開する株式会社「良品計画」と製品の共同開発を行い、販路を拡大しています。フェルト製品は、ぬいぐるみ、スリッパ、バッグ、アクセサリ等バラエティに富んでいます。

一行はフェルト製品の製作の様子、検針機による検針をはじめとする安全管理、ジャムやジュースの新商品試作の研究室を視察しました。



フェルトのぬいぐるみを製作する組合員



食品の研究室

報道ぶり

プレスツアー後、キルギスの新聞・テレビ・通信社で次々と我が国開発協力の取り組みが報道されました。

Ala-Too24 テレビでは「カラコル：インフラストラクチャーの発展」というタイトルで5分以上にわたり我が国開発協力事業が取り上げられ、一日に何回も繰り返し放送されました。

多くの市民が目にする新聞・テレビ・通信社のニュースで開発協力事業が取り上げられることで、キルギス国民の我が国開発協力事業への理解もより一層深まったと考えられます。

関連リンク（外部サイト）

- ・カバール通信 9月12日付「日本は46,000ドル以上相当の機材をアク・スー神経精神病院に供与した」

<http://kabar.kg/news/iaponiia-peredala-ak-suiskomu-psikhonevrologicheskomu-uchrezhdeniiu-oborudovanie-na-bolee-46-tys/>

- ・カバール通信 9月13日付「カラコルの道路維持管理局は日本から機器修理のための機材の供与を受けた」

<http://kabar.kg/news/deu-karakola-poluchila-ot-iaponii-oborudovanie-dlia-remonta-tekhniki/>

- ・アキプレス通信 9月13日付「日本は2600万ソム相当の機材を道路維持管理局に供与した」

<http://www.turmush.kg/ru/news:1566438?from=portal&place=last&b=1>

- ・カバール通信 9月16日付「地域開発：フェルト製品ビジネスは、日本政府からの支援で機材の供与を受けた」

<http://kabar.kg/news/razvitie-regionov-biznes-po-voilochnoi-produktsii-poluchil-v-pomoshch-oborudovanie-ot-pravitel-stva-iaponii/>

- ・Ala-Too24 テレビ 9月16, 17日放送「カラコル：インフラストラクチャーの発展」 https://youtu.be/f8_jEn8FP5s?t=456 (関連部分：7:36-13:16)

- ・ELTR テレビ 9月16日放送「日本大使館から支援を受けた諸機関」

<https://www.facebook.com/elkanaly/videos/2985874018154014/> (関連部分：29:33-30:28, 31:16-34:13)

- ・新放送ネットワーク (NTS) テレビ 9月16日放送「病院が家になったとき」

<https://youtu.be/2mfibtGeT60?t=1570> (関連部分：26:10-30:05)

- ・夕刊ビシュケク紙 9月17日「優しさの根」

http://vecherka.kg/2019/09/17/grant/1_print.html